

平成 30 年度  
事業 報告 書

令和元年 6 月 1 日 (土)

社会福祉法人 わらしこの会

## 目 次

社会福祉法人わらしこの会 法人本部	1
わらしこ保育園	7
わらしこ第2保育園	19
小金井市立まえはら学童保育所	36
小金井市立みなみ学童保育所	41
児童発達支援事業所 Tossie	46

## 平成 30 年度 社会福祉法人わらしこの会 法人本部 事業報告書

はじめに(総論)

平成 30 年度は、小金井市みなみ学童保育所の運営委託を受けて事業所数 5 カ所、職員総数 90~100 人規模の事業を展開する法人となりました。わらしこの会の理念と基本姿勢を再確認して、職員の子どもへの熱い思い、地域の親達の思いに立脚して、共に進む法人としての組織の充実を図ることが求められました。平成 30 年度の課題は、(1) 法人の組織的な運営を強化していくこと。(2) 受託運営を開始した小金井市立みなみ学童保育所を適切に運営していくこと、併せてまえはら学童保育所を引き続き適切に運営していくこと。(3) 児童発達支援事業所 Tossie の運営の安定化を図り将来に向けての方向を切り開いていくこと。(4) 保育士確保のための取組を具体化するとともに職員の労働条件の向上をはかることでした。

### (1) 法人の組織的運営の強化

①法人運営会議を毎月実施して、全体状況を把握して進めてきました。前年度に人事についての混乱があったことから、人事委員会制度を検討し、2019 年度の施設長人事については主任以上の職員、主任人事については A リーダー以上の職員を対象とする適正検査等を実施するなどにより、人事の透明性を図る一歩としました。

②理事長及び常勤理事により多くを判断して進める状態から、各事業所の担当理事の関わりを強め、必要な課題について理事が役割をはたして進めていくようにしました。理事等役員を選任についても選任委員会を設置して人事の透明性を図るようにしました。

③理事長報酬を月給制とし、必要に応じて対応しやすくするとともに、業務報告を理事会に提出することを通して、理事長としての働きを確認し、今後の組織における役割の明確化を検討して行くための一年としました。これは、2019 年度に法人本部の整備を進めて行くためにも重要でした。5 事業所になることにより、法人事務の多様化が法人事務職一人体制の役割加重化とも相まって改善の必要を痛感する一年でもありました。長年法人事務として 1 施設の時から支えてきた事務主任の健康問題による年度末退職もあり、2019 年度以降に法人事務体制の整備が急がれることになりました。法人全体としての事務体制の整備を進める方向で、年度末には、二つの保育園に専任の事務職を配置できる給与格付け規定の改善を行いました。2019 年 5 月 1 日より二つの保育所に正規の事務職員を採用することになり、本部と合わせて 3 名の正規の事務職員の中での役割分担等により法人全体の事務的整備を進めることとなります。

## (2) 小金井市立みなみ学童保育所、まえはら学童保育所の運営

二つの学童保育所は、所長を初め職員の努力で小金井市の担当課及び保護者の皆様のご理解を得て1年間を無事に終えることができました。2017年度には所長人事も含めて困難もありましたが、地域や保護者に理解を得られる学童保育所として、子どもたちの育成に重要な役割を果たしてきました。職員の雇用については人材難の中で厳しい状況があり職員の労働条件等の見直しは引き続き課題になっています。これには二人の所長が検討を進めています。

## (3) 児童発達支援事業所 Tossie の今後に向けて

Tossie は、初年度の大幅な赤字の状況からは、所長はじめ職員の努力で改善をしています。養育内容についても、職員の努力が保護者の信頼を得ていることは明確です。1年前の理事会では、今後3年間を見てTossieの方向性を決定するとしました。Tossieは保育所と異なり支援費制度での運営です。そのため、安定的に職員の雇用が続けられるかが大きな課題になっています。2018年度は、児童発達支援事業所の就業規則・給与規定の検討を行う予定でしたが、今後の状況を見定めること等の必要性から保留としました。府中市の家賃補助等支援を依頼して、わらしこのTossieだから行っていること(給食・子のみの通園・療育)への補助等も働きかけてきましたが難しく、職員の給与は法人内の中では最も低くなっています。この労働条件の改善と将来に持続的に行えるかについて今後の一年間の状況で判断しなくてはならなくなっています。

## (4) 保育士等確保の取り組み

近年保育士の確保が難しくなっています。法人として行政の制度等を積極的に活用していく努力をして来ましたが、住居費補助制度の活用もできるように整えました。処遇改善費の活用による手当支給なども積極的に行い、キャリアアップの取り組みによる手当て加算にも取り組んで来ましたが、これらをどのように活用していくかについては、課題も残っています。30年度は保育士の確保が困難な中で厳しい勤務状況になりました。全職員が協力して乗り越えてくれました。年度末にその努力に対する手当支給も行いましたが、年間全体の予算の中で計画的に考えていくことが課題となります。

職員募集の方法の改善も図っていく必要があります。人材派遣や人材紹介会社に頼る現状をどのように改善していくかは、一法人の努力ではなく、関係法人と連携して考えていくことも必要です。保育士等の給与改善としてのものが人材紹介等の会社に吸い上げられる現状は問題と言えます。

## 1. 法人の運営体制

### 1) 理事会

理事 6 名、監事 2 名の執行体制で進めた。なお、制度改正に伴い理事の改選をおこなった。理事会は、定款に基づいて必要な検討を行ない法人の事業が適切に遂行する責任を負う。理事会は年 6 回開催した。役員報酬規定の改定のため、みなし理事会を 1 回行った

### 2) 評議員会

評議員は 7 名、国の制度改正に伴い定款で定めたとおり任期は平成 29 年年度より 6 年間となった。毎年決算理事会の後、6 月に実施するとして、30 年 6 月に実施した。役員報酬規定の改定のため 3 月にみなし評議員会を行った。

### 3) 法人運営会議

理事長の出席による法人運営会議を毎月定例で実施した。必要に応じて理事、各施設の施設長(所長)及び副施設長と法人事務(事務主任)、理事長が認めるその他の職員等、により適切な運営を図ることとした。平成 30 年度は運営会議において次のことを行った。

- ① 各事業所の財務に関する計画及び実施に関する検討  
各事業所から提案される予算案、毎月の予算執行状況、必要となった補正予算案、決算報告書案、補助金についての申請と確認、
- ② 各事業所の事業計画及び実施に関する検討  
各事業所から提案される事業計画案、事業の実施状況報告、事故等の報告、必要となった事業の計画、職員の確保と労働条件、その他
- ③ 職員の状況についての確認と必要な対応
- ④ 理事会に提案する事案について

### 4) 施設運営会議

わらしこ保育園・わらしこ第 2 保育園には、引き続き施設運営会議を設置し、施設長、副施設長、主任により適切な運営を図ることとした。また、まえはら学童保育所及びみなみ学童保育所は二人の所長による打ち合わせと協力により適切な運営を図ることとした。Tossie は、常勤理事及び所長による打ち合わせ会を行い適切な運営を図ることとした。施設運営会議の内容は、法人運営会議に報告・必要な提案を行って確認して実施した。

## 2. 運営する事業

- 1) 社会福祉法人わらしこの会は、次の事業を運営した。
  1. 二つの認可保育園 わらしこ保育園、わらしこ第2保育園を運営する事業
  2. 小金井市立まえばら学童保育所、小金井市立みなみ学童保育所の委託を受け運営する事業
  3. 児童発達支援事業 Tossie を運営する事業
  4. 一時預かり事業・定期利用保育事業の実施
  5. 地域子育て支援拠点事業
  6. 保育の向上および法人の将来に資する事業(研修など)
  7. その他、必要に応じて地域の福祉要求に応える事業
  
- 2) わらしこ保育園の運営
  1. わらしこ保育園は、児童定員 100 名(0歳児から5歳児)、児童定員に見合った職員を配置し、施設長と副施設長及び業務主任を配置して運営した。
  2. 運営においては、園児の安全を第一とし園児の成長発達のために最善の保育が行われるように努力した。
  3. 運営に当たっては、職員の意見を十分聴取し、職員の協力のもとに行った。なお、労働条件等については可能な限り改善に努力した。
  4. 保護者の意見に謙虚に耳を傾け、保護者の協力を得て適切に運営する努力を行った。
  5. 苦情等には誠意を持って当たり、第三者委員の意見や指摘を尊重して適切な改善と運営に努めた。
  6. 保育指針の内容を深め必要な内容を反映させた保育の充実を図った。  
詳細については、わらしこ保育園事業報告を参照
  
- 3) わらしこ第2保育園の運営
  1. わらしこ第2保育園は、児童定員 100 名(0歳児から5歳児) 児童定員に見合った職員を配置し、施設長と業務主任を配し、適切な運営に当たった。
  2. 子育て支援事業に積極的に取り組み子育て支援室を活用した取り組みを進めた。
  3. 運営においては、園児の安全を第一とし園児の成長発達のために最善の保育が行われるように努力した。
  4. 運営に当たっては、職員の意見を十分聴取し、職員の協力の下に行った。なお、労働条件等については可能な限り改善に努力した。
  5. 保護者の意見に謙虚に耳を傾け、保護者の協力を得て適切に運営に努めた。
  6. 苦情には誠意を持って当たり、第三者委員の意見や指摘を尊重して適切な改善と運営に努めた。

7. 近隣住民の方との調和を図り、苦情やご意見に誠意を持ってお応えし、ご協力をお願いしてきた。近隣住民の方に必要と認識していただく保育所運営に努力した。
8. 保育指針の内容を深め必要な内容を反映させた保育の充実を図った。  
詳細については、わらしこ第2保育園事業報告を参照

#### 4) まえはら学童保育所の運営

1. 小金井市立まえはら学童保育所の委託運営を行った。定員は第1学童が60人、第2が30人の計90人。
2. 所長1名、指導員2名の正規職員と非常勤職員を配置して、適切に運営した。
3. 運営においては、園児の安全を第一とし園児の成長発達のために最善の保育が行われるように努力した。学童であることから小学校との連携・協力を大切に実施した。
4. 運営に当たっては、職員の意見を十分聴取し、職員の協力の下に行い、労働条件等については可能な限り改善に努力した。就業規則及び供与規定の改定を行った。
5. 保護者の意見に謙虚に耳を傾け、保護者の協力を得て適切に運営に努めた。
6. 苦情には誠意を持って当たり、第三者委員の意見や指摘を尊重して適切な改善と運営に努めた。

#### 5) みなみ学童保育所の運営

1. 小金井市立みなみ学童保育所の委託運営を行った。定員は第1学童が40人、第2が40人の計80人。
2. 所長1名、指導員2名の正規職員と非常勤職員を配置して、適切に運営した。
3. 運営においては、園児の安全を第一とし園児の成長発達のために最善の保育が行われるように努力した。学童であることから小学校との連携・協力を大切に実施した。
4. 運営に当たっては、職員の意見を十分聴取し、職員の協力の下に行い、労働条件等については可能な限り改善に努力した。就業規則及び供与規定の改定を行った。
5. 保護者の意見に謙虚に耳を傾け、保護者の協力を得て適切に運営に努めた。
6. 苦情には誠意を持って当たり、第三者委員の意見や指摘を尊重して適切な改善と運営に努めた。

#### 6) 児童発達支援事業所 Tossie の運営

1. 一日の定員10人。
2. 職員は、所長、児童発達支援専門員、指導員を配置して適切に運営した。
3. 個々の児童に応じた療育を計画・実施した。
4. 他の事業所では行っていない給食を提供した。

5. 職員の労働条件については可能な限り法人の施設として他事業所同等となるように努力し、賃金改定を行った。安定した条件については次年度の課題になっている。

発達支援事業については、前年度及び平成 29 年度をその後の安定した運営を築くための期間として捉え、持続可能な運営状況を職員と共に確立していく努力として進めた。

詳細は Tossie の事業報告書を参照

- 7) 一時預かり事業・定期利用保育事業の実施  
わらしこ保育園、わらしこ第 2 保育園の事業報告を参照
- 8) 地域子育て支援拠点事業  
わらしこ保育園、わらしこ第 2 保育園の事業報告を参照
- 9) 研修等について  
わらしこ保育園、わらしこ第 2 保育園の事業報告を参照
- 10) 苦情解決委員会・第三者評価・運営委員会  
わらしこ保育園、わらしこ第 2 保育園の事業報告を参照

### 3. 各事業報告書

- 1) わらしこ保育園事業報告書(別紙)
- 2) わらしこ第 2 保育園事業報告書(別紙)
- 3) 小金井市立まえはら学童保育所事業報告書(別紙)
- 4) 小金井市立みなみ学童保育所事業報告書(別紙)
- 5) 児童発達支援事業所 Tossie 事業報告書(別紙)

以上



## 平成30年度 わらしこ保育園 事業報告書

### 2018年度（平成30年度）概況

人材不足はとうとう1年を通して充足せず、職員には大きな負担となりました。働き方改革が叫ばれている昨今です、処遇も含め思い切った改革をしないと改善には結びつかないと実感し大きな課題としましたが簡単には改善せず、次年度にも持ち越しました。こんな厳しい中でも職員は一致団結して、園行事の運動会・まつり・巣立ちを努力と工夫でやりきりました。

保護者からも高評価を受け、感謝のメッセージが沢山あったのは保育の質が認められたのだと嬉しく思います。

3年続いた法人研修も終了しました。自分の言葉で自分の実践が語れること、根拠となる文献に実践が紐づいていること、2園間の交流が図れたことが大きな成果となりました。この成果を今後も継続し伝承していけるようにしたいと思います。

この年は異常気象で高温が続き、熱中症予防対策として園外活動禁止を出しました。

開園以来の出来事です。紫外線予防もここ何年で強化され自然の中で遊ぶことを旨とする保育がどこまで許容できるのか考える時代になったことも大きな特徴となりました。

### 1、今年度の重点課題

（法人職員として）

- ・法人研修を通して、保育の一貫性とわらしこ第2保育園との連携を図る。  
保育の特色の学びを継続してきた。30年度は「生きる力」を学んだ。両園の保育士や厨房職員、子育て支援の担当保育士が子どもたちになぜ生きる力をつけるのかというところから話し合い、いずれも「子どもは未来の社会人」というワードを導き出した。
- ・新保育所保育指針について内容理解を深める。  
全体で内容を確認することが出来なかった。「全体的な計画」の学習を進めながら次年度も継続する。
- ・「共同保育」の園理念のもとに、保護者と共に子どもを育てていく。  
保護者の協力、保育士の協力のもと子どもの育ちを共有してきた。行事を通してお互いに関係を深めることが出来た。しかし、日常の保育参加について意見の齟齬が発生し苦情が1件発生した。
- ・法人の将来について職員間でも考えていく。  
法人からの発信も含め、職員が将来を考えられるような取り組みを考える必要がある。

(保育について)

- ・健康、食事、保育の3つ(三本柱)の視点が連携を取り子どもを育てることの理解を深めることと子どもの育ちの柱としてさらに学びを深めていくことは周知できるようになった。
- ・保育の特色である「生きる力」を年間のテーマとし、実践と学問をつなげながら全職員で学ぶ。

生きる力を、「観察主体」「レジリエンス力」「子育て支援の哲学」「食の哲学」の面からとらえ、この力をなぜ伝えたいかを共有した。それは子どもが未来の社会を作っていく主体となるので自分たちの価値観や考え方を残したいからだという結論を導き出した。

- ・地域の拠り所である場として園を開放し「共同」の理念を保護者と共に実践していく。保護者から園行事への協力があつた。共催の「まつり」の開催について実行委員会から園主催の検討が出され、職員会で検討した結果、園主催とすることに決定した。協力については園行事と同じとした。
- ・わらしこ第2保育園と交流し、保育実践や業務内容を共有するとともに子どもに豊かな文化行事を提供する。

2園の職員が相談して、自分たちで絵本「わらしべ王子」の語り聞かせを合同で行った。

## 2、保育内容の充実

(法人職員として)

法人内の施設に関心を持ち、協力・交流をすることが出来た。

特に児童発達支援事業所「トッシー」の園児をクラスにて保育体験ができるよう受け入れどちらの施設にとってもいい体験ができた。

(保育について)

保育の特色を学びながらわらしこ保育園の子ども像の実現にむけ取り組んだ。

- ① 今年の法人研修のテーマは「生きる力」であった。このテーマを懇談会や行事のテーマとし、各年齢で子どもが生きることが理解できるような取り組みを行った。
- ② 3本柱の考えを推進し、おたよりで東京都の「生きる力の基礎」の内容に沿って発信してきた。
- ③ わらしこ第2保育園の年長児と園の年長児が年間を通してリズム遊びを一緒に行った。
- ④ 各年齢において大事にしている保育の柱を総括で確認した。
- ⑤ 年長合宿では地域の行事に参加する機会を得た。最終日の午前中に走ってそのまま帰園するスケジュールであったが子どもたちはしっかり完走して、帰園もスムーズであ

った。園の行事としては実りあるものとなったが、地元の行事に一部参加する形態であったため地域への配慮が必要であった。

親子で荒馬を作る取り組みを行った成果として、親子や行事に関する理解と共に絆が強まった

⑥園外保育を充実させバスを使って奥多摩・山梨などより自然を求めて幅を広げた。

### 3、保護者への支援

育児への不安を軽くできるように保護者も楽しい参加型の懇談会を職員が工夫して行った。五感を使うことの体験、絵をかいたり、畑に球根を植えたり、普段行く散歩先に行ったり子どもになった気持ちで参加してもらった。どのクラスも子どものワクワク感や感受性を体感したと感想があった。

育児困難の家庭には担当や看護師、関係機関と連携し通所の継続を支援した。

### 4、地域の子育て支援

保育所の社会的な役割を発揮する取り組みを行った。

#### ① 子育てひろば

地域の外国籍の母親の支援を行った。育児に疲れていたがひろばを楽しみにしており、話を聞いてあげることや子どもの対応に協力する中で元気になっていった。

開催：年9回 参加者 延302名。(前年度 10回 300名)

#### ② 赤ちゃん講座

妊産婦から歩けるまでのお子さん(約1歳児)を対象に抱き方、目と目を合わせる、姿勢の見方、ロールマットをして左右差や皮膚の状況を学ぶ、肩こり等子どもを理解する独自の視点を知って驚く参加者が多い。1歳を過ぎると子育てひろばにつなげる。

開催：年3回 延62名。(前年度 4回 114名)

#### ③ 園庭開放

地域の就学前の親子を対象に園庭を開放し、遊んでもらう。担当を配置できなかったため、園庭で遊ぶクラスの担当が声をかけ一緒に遊ぶようにした。

開催：年11回 延124名 (前年度 11回 67名)

#### ④ 食事体験

子育てひろばや園庭開放を利用した後に、昼食を提供した。

利用した人が次に初めての人を連れてきてくれるなどひろめてくれた。

1歳~5歳まで幅広い利用があった。今年度は固形を食べないという相談が1件あっただけで後のほとんどの利用者が野菜も和食も好んで食べてくれた。

開催：年9回 延13名 (前年度 6回 26名)

#### ⑤ 赤ちゃんふらっと事業

利用者はいなかった。利用できることを積極的にアピールする必要がある。

(前年度 1名)

### 5、職員集団作りと保育内容の継承

ベテラン（15年以上）、中堅（7年以上）の職員のバランスがとれ、新人（3年まで）も経験を積み意見を活発に交わす機会も増えてきた。

非常勤職員の経験年数も増え、安心して任せられる保育の理解も進んできた。

保育内容の継承は、リズム遊びを中心に全員で実践検討し、改めてリズム遊びの奥深さを感じ学習意欲が高まった。

### 6、運営の組織強化

運営に当たっては、管理組織と処遇改善のAリーダーの連携で行う意識を作った。

人材不足により、Bリーダーの人材が確保できずAリーダーへの負担が集中した。

管理組織が管理のための事務時間を確保できない状況が常となり、じっくり話し合い見直しをもって運営できるような課題が残った。

### 7、労働環境の見直し

省力・連携・メンタルヘルスを重点に見直しを図った。

東京都の働き方改革に取り組み、目標数値を明確にした。

### 8、災害発生の備え及び危機管理

東京都震災対策条例に基づく事業所防災計画に関する告示の一部改正に伴う事業所防災計画（帰宅困難者対策）を作成した。

施設の安全点検のためのチェックリスト、震災時における時差退勤計画も作成した。

リスクマネジメントは、副園長が中心となり修繕等の全体の施設管理と事故やヒヤリハットの指導をおこない再発防止や職員への意識喚起を行った。

### 9、運営

毎月の事業報告を担当理事に報告・連絡・相談をし、運営への助言をもらいながら運営することが出来た。

一昨年監査で指摘があった厨房会議への管理職参加を実施した。

今年度運営管理を円滑に行うために以下の会議を開催し組織してきた。

① 職員会議 月1回 定例で実施した。

② リーダー会 月1回 その他必要に応じて開催した。

- ③ 園長・副園長・主任会議 随時開催した。
- ④ 部署会議 月1回 乳児会・幼児会・厨房会議  
乳児Aリーダー・幼児Aリーダー・食育Bリーダーが中心となり会の運営を円滑に行った。
- ⑤ クラス会議 月1回実施した。
- ⑥ 総括会議 年2回 (土曜日に長時間会議) 実施した。
- ⑦ 行事会議 まつり・運動会・巣立ちの3行事は実行委員会を設置し、全職員が分かれて運営した。  
芽ぶきは、乳児職員が担った。
- ⑧ 苦情解決第三者委員会 年4回開催。園長が担った。苦情件数は0件であった。
- ⑨ 運営委員会 年3回開催。園長・副園長・職員代表・保護者会3役で意見交換を行った。

各種係り・委員を設置し職員全体が分担して運営ができた。

- ① 季節行事は全職員が分担して12の季節行事を実施した。
  - ② 誕生会・避難訓練・危険箇所点検も毎月1回全職員がペアを組み実施した。
  - ③ 子育て支援事業は副園長、主任、看護師、厨房職員、一時預かり担当保育士が担った。
- その他以下の係りを職員が分担した。

研修係                   リズム研修や職員研修の企画と進行を担った。

環境整備係           園内の美化、職員への呼びかけ、雑巾在庫管理を行った。

教材係                 教材、教材室の管理と発注を行った。

親睦係                 職員親睦の企画と進行を担った。

絵本係                 絵本、紙芝居の管理、注文をした。保護者の絵本修繕係との連絡を取った。

#### (1) 児童受託状況

100名定員で4月は98名、5月から7月まで99名、8月からは100名で充足し3月で99名となった。

#### (2) 延長保育事業状況

延長利用は昨年同様10名前後で、ここ2年の傾向として減少している。  
働き方改革なのか、意識改革なのか女性の労働者の緩和が見受けられる。  
長時間利用の児童については、体力への配慮と心理的安定を心がけ保育にあたった。

### (3) 一時預かり事業

一時預かり事業と定期利用を行った。本年度より単独クラスではなく、各年齢のクラスで受け容れる形式になった。

どんぐり組というクラスがなくなることに不安と存続を希望されたが、社会的状況として人材確保が困難であることを理解していただいた。

定期利用1世帯、一時預かり10世帯の利用となった。

#### 年間利用状況

月	一時預かり利用者	定期利用者	計
4月	9人	17人	26人
5月	0人	17人	17人
6月	0人	14人	14人
7月	22人	18人	40人
8月	30人	18人	48人
9月	17人	0人	17人
10月	19人	0人	19人
11月	29人	0人	29人
12月	26人	0人	26人
1月	27人	0人	27人
2月	15人	0人	15人
3月	10人	0人	10人
計	204人	84人	288人

※昨年比 一時預かり946名減、定期利用484名減

一時預かりのクラスを一時停止し、クラス受け入れとしたため受け入れに制限ができた。

### (4) 職員配置

正規職員 23名（育休1名）

・園長 1名 ・保育士 17名 ・看護師 1名 ・栄養士 1名 ・厨房職員 2名

契約職員（1日6時間以上、週5日勤務）

・保育士 6名 ・事務員 1名

短時間勤務（週5時間未満勤務）

・保育士 8名

・調理補助 3名

・嘱託職員 臨床心理士1名

- ① 時短職員 3名
  - ② 病休取得者 2名
  - ③ 産休・育休職員 1名
- 今年度退職者  
 正規職員 1名  
 非常勤職員 2名

(5) 年間行事 別紙参照

(6) 給食

- ・誤食の発生が数件あり、0歳児の職員との連携が課題となった。次年度離乳食や食事について根本から共有することとした。
- ・経験5年の調理員が核となり食育Bリーダーの職責を積極的に始動させた。
- ・保育と連携して食育の一環としての行事を主導しておこなった。  
 プール開きのニジマスさばきと焼き・芋煮会・もちつき。
- ・地域より食材の提供があった。キャベツ、トマトの苗、スナップエンドウ・梅・柿。  
 第2保育園からも提供があった。
- ・アレルギー児対応：医師の生活指導管理表に基づき除去食を行った。
- ・保護者へ給食のサンプルや行事食の写真の掲示を行った。
- ・保護者への情報提供として食事便りを毎月1回配布した。

(7) 保健

大きな特徴として、5月に熱中症症状が発生しOS-1で対応したが、8・9月の酷暑は散歩を中止とし、保育環境の温度、湿度も管理して予防に努めた。

身体測定 月1回看護師が実施。結果を記録した健康カードを保護者に報告して成長を共有した。

0・1検診 嘱託医と看護師が毎月実施。心身の発達の経過を追い健康面からサポートした。

すくすく児検診 嘱託医と看護師が毎月実施。心身の発達の促進状況や障がいの経過観察を行った。また、保育士と連携し、すくすく児の受診する他機関の情報を集約し保護者面談に同席して保健面でのアドバイスをを行った。

全園児検診 年2回（5月・10月）全園児の心身の発達状況を見てもらった。

歯科検診	<p>年1回。7月に実施。虫歯保有者8名。</p> <p>矯正が必要と言われた子どもが2名、保護者に発信した。</p> <p>食べる問題は園だけでは解決しきれないため、家庭の状況も含めてアプローチすることが必要。園の食事や生活はあごの発達にとっても有効であり家庭と保育園との生活の差がどのくらいあるのかを常に見て保育環境を作っていくことが必要と園医よりアドバイスを受け職員間で共有した。</p>
職員健診	<p>年1回。9月に実施した。</p>
職員検便	<p>毎月1回実施。滞りなく実施できた。</p>
薬の預かり	<p>基本は預からないが、医師の指示預かり対応した。</p>
感染症対応	<p>胃腸炎、結膜炎、リンゴ病、プール熱、とびひが単発的に流行する時期があった。その都度受診の呼びかけや園内の環境消毒などして対応した。11月～1月しらみ（幼児）1月および3月インフルエンザA型。3月に0歳児クラスでRSウイルスが流行した。</p>
エピペン保管	<p>エピペンを必要とする児童のための保管を行った。</p>
事故簿状況	<p>受傷児の対応で骨折や縫合を要するような大きなけがはなかったが、他児の手が当たったの眼科受診、転倒による口腔内の傷で歯科への受診が多かった。子どもの身体使いや他者との空間・距離のとりかたなどの力を日常の中でつけていく必要がある。受診23件（歯科7件、眼科7件、外科6件、耳鼻科2件、内科1件。）</p>
	<p>その他、特別な配慮を必要とする児童の経過観察と、主治医や保護者との連携も行った。</p> <p>また、保健・療育支援Aリーダーとして専門性を発揮し次の支援も行った。</p>
	<p>① 子育てひろば、赤ちゃん講座で気になる子や保護者には適宜声をかけ臨床心理士や食事体験に繋げた。</p> <p>② 臨床心理士と連携しすくすく児の「就学に向けた座談会」を開催した。</p> <p>③ 0歳児と関わり、発達の状況を保育士と共に共有した。</p> <p>④ 職員のメンタルヘルス軽減の相談に乗り臨床心理士への橋渡しをした。</p> <p>⑤ 看護師が全国保育園保健師看護師連絡会主催の全国研究会において「0歳児クラスにおける良質な睡眠へのアプローチ」という題目でわらしこ保育園で実践している睡眠のアプローチ方法を発表し子どもの心とからだに着目することの大切さを全国へ発信した。</p>



## (8) 環境整備

- ・夕方2時間の非常勤に依頼し、園庭の草取り、軽微な営繕修理を行った。
- ・園庭の木の剪定を業者に委託し行った。
- ・駐輪場に灯りが欲しいとの要望があり設置した。
- ・園庭にタイヤを埋め、遊具として常置した。(保護者の設置協力)

## 10、防災・防犯・安全管理

- ・毎月1回の防災訓練・消火訓練は子どもたちも真剣に参加し短時間での避難になっている。
- ・安全点検を、毎月輪番で職員が行い危険個所の発見を行い、副園長、主任の安全係りが修繕等改善に繋げている。
- ・引き渡し訓練を年1回、保護者の協力のもと実施した。
- ・総合訓練として「煙体験ハウス」により煙体験をした。幼児クラスと職員が火事の際に発生する煙を体験し視界の悪さを大人が実感した。
- ・防災用品の購入：非常用飲料水。避難車1台。

## 11、実習生・中高生の受け入れ状況

新たな学校、新たな内容の依頼も増え、対応も大変ではあるが教えることで職員の保育の眼が養え、気づきにもなるため積極的に受け入れた。実習生には保育現場だけではなく厨房や一時預かりも体験してもらい、違う立ち位置で保育が見えると感想がある。

### 実習受け入れ状況

#### ① 保育学生

武蔵野大学	6月11日～	6月23日	2名
明星大学	11月19日～	12月1日	1名
帝京短期大学	12月3日～	12月15日	1名
白梅学院大学	2月1日～	2月15日	1名
帝京大学	2月12日～	2月25日	1名
東京保育専門学校	2月18日～	3月2日	1名
目白大学	2月18日～	3月2日	1名
東京工学院専門学校	3月4日～	3月20日	1名

#### ② 栄養士学生

城西大学薬学部医療栄養学科	6月11日～	6月16日	1名
	6月18日～	6月23日	1名

③ 職場体験

府中市立第二中学校 7月2日～6日 5日間 3名  
シュタイナー学園高等部 11月5日～22日 14日間 1名

④ 夏のボランティア体験

府中市社会福祉協議会公募 7月31日～8月4日 2名

⑤ 実習事前学習

実習に向けての事前のプレ実習。

東京女子体育短期大学

6月12日 3名

6月14日 3名

⑥ ボランティア学習

大東学園高校 1名

8月9、10、13日

子どもの発達と保育の授業の一端としてのボランティア

都立若葉総合高校 1名

12月14、15、22日

## 12、職員育成と研修計画

わらしこの子ども像の実現に向け以下の研修を行った。

子ども像の実現に、保育の特色を生かし実践に結び付けることと子ども理解を深めるために以下の研修を行った。また、第2保育園との合同研修を実施し法人内の保育の質を高めるための研修を行った。

① 全園児リズム

年回3回、全職員でリズム遊びの研修を行い日頃の実践につなげた。

クラスの子どものリズム遊びの中でみえた姿を出し合い、発達に即した姿が見えることを確認した。

② 年長リズム

年4回実施。うち3回は第2保育園と合同で行う。

年長の育ちを確認できる大事な研修。終わるごとに振り返りを行い、明日の保育に役立てる流れを作った。跳び箱を両園で取り組むこととなり園庭にタイヤを埋め跳ぶ遊具を設置した。

③ 法人研修

わらしこの保育の特色を3年かけて学ぶ。今年は「生きる力」を文献や実践と結び付け発表した。どのグループも3年目でありいい発表ができた。

また、保育の質の向上をめざし府中市私立保育園主催による研修会にも参加した。府中市全体の保育の質を保ち、市内の保育園の交流を図るという目的であるが、同時に運営にも携わる。厨房職員が会計を担った。府中市私立保育園と府中市が共同で研修も企画し参加した。

① 府中市私立保育園研修会

保健部、調理担当者、保育の3分野で12回の研修、総会、福祉まつりを通して交流と市民に保育園の存在や役割を発信することが出来た。

総会で3名の職員が永年勤続者表彰規定により表彰された。

② 合同研修会

11月14日「子どもののびやかな育ちを支える」井桁容子氏  
公立保育園の職員と私立保育園の合同研修である。

3名が参加した。

③ 保育コーディネーター研修

1月29日保育コーディネーター研修者の振り返りが行われた。

学びを保育の中でフィードバックしていくことが確認された。

### 1.3、地域交流事業

① まつり 参加者約400名（地域の方・在園児家族・卒園生並びに家族）

1、わらしこの食事を食べる。（松之山素材のメニュー） 2、わらしこの保育（今年度は松之山紹介・わらしこお散歩マップ）を発信する、 3、保護者が企画運営する遊びコーナーや語り部さんの語り聞かせを体験する、の3本建てで実施した。

毎年多くの参加者が楽しみにしておりあちこちで交流の輪が作られていた。

共催事業として保護者と実行委員会を立ち上げ長年実施してきたが、共催ではなく園の主催ではできないかという提案があり職員会議で協議し、園主催の方向で検討することとなった。（保護者は協力という立ち位置で、内容は園主導）

② 卒園児の受け入れと交流

まつり・・・語り聞かせの体験とまつり参加

運動会・・・卒園児競技・お楽しみ競技への参加

もちつき・・・もちつき体験

夏休み中の交流体験・・・園児との交流

### 1.4、福祉サービス第三者評価の受信

2016年度受審済。 2019年度受信予定。

### 15、中期（3年）長期（5年～10年）計画の具体化

単年度の事業についての計画は充実してきた。中期的、長期的な計画は継続的な課題となっている。法人としての計画と連動させながら具体化する必要がある。

#### 平成30年度 主な年間行事 実施報告 わらしこ保育園

月	日	保育・保健・行事	懇談会
4月	日	はじめての1歩・・・入園、進級を祝う	21日 全体懇談会
5月	7日 14日	子どもの日の集い 全園児検診	12日 親子リズム
6月	4日～9日	年長合宿	懇談会（0歳～5歳）
7月	2日 3日 5日	歯科検診 プール開き 七夕の会	
8月		プール	
9月	8日 14日 26日	まつり 敬老の日の会 お月見の会	
10月	1～6日 15日 31日	年長合宿 全園児検診 サンマまつり	18日 合宿報告会
11月	3日 21日	運動会 芋煮会	懇談会（1歳・3歳・4歳）
12月	20日 26日 27日	お楽しみ会 観劇会（地球）「森は生きている」 もちつき	
1月		七草がゆ	26日 大人のための年長リズム
2月	1日	節分	
3月	1日 2日 15日 23日	ひなまつり 芽吹き（乳児の成長を祝う会）  地球さんを送る会 巣立ち（卒園式）	懇談会（全クラス）

※誕生会・避難訓練は毎月実施。

以上

## 平成30年度 わらしこ第2保育園 事業報告書

### 平成30年度概況

今年度は職員の体制が不安定であったが、職員が協力しあい、大きな問題もなく1年を終えられた。職員会議などでも子ども達が育ったことを確認、共有することができた。

園内研修や会議などで、子どもにとって大人の関わり方が一番大切であることをベースに、皆で保育を積み重ねてきたことが実感された年であった。

施行された新保育所保育指針の小学校との接続の中での「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」、アクティブラーニングがキーワードにもなっている。

わらしこの保育は生活や遊びの中で、この力を育てていると確信できる。自ら育ち、もともと能力を持っている子ども達に、どのような人的環境、物的環境がよいかを保護者や地域に発信していく役割は保育園が担いながらも、保護者が主体的に子どもにとって本当によいものを選択していけるような支援が必要と感じる。

わらしこの保育を通してそれを伝えることのできる職員の育成にはこの3年間の法人研修を通して力を入れてきて成果も感じる。

働き方改革改善も、引き続き取り組んでいきたい。

### 1. 今年度の基本方針（運営、保育方針含む）30年度事業計画書から

〈法人職員として〉

- ・法人研修を通して、保育の一貫性と両園の連携を図る。
- ・法人の将来について職員間でも考えていく。
- ・平成30年度改定の「保育所保育指針」の中間発表について議論する。

〈保育について〉

- ・保育・保健・食事の3つの視点で連携をとり子どもを育てる。（三本柱の保育）
- ・法人研修のテーマ「生きる力」を園のテーマ、園内研修のテーマにおきこども観、保育観を全職員で一致していく。
- ・畑を利用した食育に取り組み、子どもの心と体を育てる。
- ・観劇、質の高い生の演奏や歌などに触れられる行事をつくり、子どもに豊かな文化を伝える。
- ・共同保育の理念のもと、保護者とともに子どもを育てていく。

## 2. 保育内容の充実（今年度の基本方針を踏まえて）

### 〈法人職員として〉

昨年度から続いている法人研修が3年目にはいり、わらしこの保育の特色の集大成を迎え、職員皆で取り組んでいた。

テーマはわらしこの保育の特色の「生きる力」について。

両園の職員混合で3グループづくり、それぞれに管理職がチューターとして入り研修を進めた。年5回開催。6回目はプレゼンで各グループ研修の成果を発表した。敢えて「保育」「食育」「保健・子育て支援」の3グループに分けたことにより、三本柱の保育の確立もできてよかった。

「わらしこの保育で、未来を創る子ども達を育てている」ということを最終的に全員で一致することが出来た。わらしこの保育実践を自信を持って保護者に伝えられる職員が増え、法人全体の保育の質の向上にもつながった。

### 〈保育について〉

- ・ 保育、保健、食育の三本柱の視点についてはAリーダー、Bリーダーが自分の職務について振り返りをおこない、主体的にそれぞれの分野を確立していき、職員の指導もしていくようになった。
  - ・ 法人研修については上記に記載。
  - ・ 厨房職員を中心に畑の作物作りの年間計画を立て、保育と連携して食育を進めた。乳児クラスはトマトなどの小さい作物の収穫を楽しみ、幼児クラスは種植え、苗つけ、水やり、さつま芋堀、草取りなどの作業にかかわり、収穫物で調理保育を楽しんだ。
- また、季節行事を食育につなげ楽しんだ。
- 5月「子どもの日」 幼児クラスが柏餅づくり。
  - 7月「七夕」 全園児で流しそうめん。
  - 9月「お月見の会」芋団子づくり。
  - 2月「節分」恵方巻きづくり。
- \*詳細は（5）給食の食育ページ参照。

観劇。年長組「森は生きている」、両園合同で読み聞かせ「わらしべ王子」。

- ・ 保護者の有志の集まりで、畑の草取りの手伝いや年度末の文集作りなどが行われた。
- ・ 遠足について  
自然に囲まれた広い場所で体を思い切り使って遊び、心も体も開放する。  
仲間と遠足を楽しむ。  
季節の自然を感じ五感を使って遊ぶ。等の目的で以下の場所で遠足を実施した。  
幼児クラス 武蔵野公園、仲田の森蚕糸公園、神代植物公園、世田谷羽根木公園、

多摩川、郷土の森、稲城市城山公園、野川公園、高尾山、  
井の頭自然文化園

乳児クラス 浅間山など日常的に馴染んでいる場所で少し長い時間遊んで来たり、  
少し足を伸ばして武蔵野公園に行き楽しんだ。

### 3. 保護者への支援

子どもに関する痛ましい事件が多数起きている世の中、人間性の土台をつくる大切な乳幼児期に、忙しいながらも親が子どもに向き合って、子どもはかけがえのない存在であると思って子育てが出来るように、保育園は子どものことを伝えていかなければならない。様々な家庭背景の中で、懸命に子育てをしている保護者の心に寄り添うこと、子どもに気になることがあっても家庭だけのせいにはせず、保育でできることを最大限努力することを職員達に投げかけながらやってきた。

支援が必要な家庭については、臨床心理士も交えてカンファレンスを行ったり、全職員に周知してフォローができるようにした。

子育て啓蒙活動として、月1回、園便り、保健だより、給食だよりを発行した。

保育参加を通して、集団の中での普段の子どもの様子や保育園の様子を見て体験してもらい、保育園への理解も深めてもらった。

保育参加の年間受入れ家庭数、86家庭。各クラスでの受け入れ。

### 4. 地域の子育て支援

#### (1) 子育て広場事業 年間開催日数 244日

- ・年間を通して沢山の利用者があり、利用者の中には保育園の広場事業が社会との繋がりになっている家庭も多く、楽しみながら交流をして子育てを共有している様子があった。広場でお母さん同士、子ども同士が友達になったりした。

他施設を利用しながらも子育てに戸惑っている家庭も多く、園長が子育て相談にのったり、体調に関する質問には看護師が対応した。また、離乳食がすすまなくて悩んでいる保護者が多く、これについては栄養士がおこなった講座が好評だった。気になる家庭には保育所体験を勧めて、実際に保育の様子を見てもらった。

食育を中心にした企画を多く取り入れた。また、お母さんの特技を生かした企画もあった。

## ①自由交流

- ・開催時間 月曜日～金曜日の9時～12時
- ・目的 乳幼児を持つ親とその子が気軽に集い交流できる場を提供する。
- ・企画内容
  - ・「絵本の会」ボランティアの絵本専門士による親子対象に読み聞かせ。
  - ・「作って食べよう」親子で簡単に作れるおやつや軽食。  
雑穀お汁粉白玉添え、小松菜蒸しパン、きりたんぼ、米粉のひつつみと  
ラタトユユ、梅干しとゆかりせんべい・しば漬け、芋餅、おからクッキー
  - ・「厨房さんと作るわらしこご飯」わらしこの給食レシピを紹介。  
にらチジミの紅ショウガ、味噌そぼろ炒め、冬野菜のポタージュ、  
梅味噌の和え物、夏から秋のポタージュ、3種のドレッシング、  
キャベツの磯部餅
  - ・「作って楽しもう」  
ボランティアによる切り切り絵制作。シンメトリーの制作。  
毛糸のモチーフ編み、しめ縄飾り作り、Tシャツからズボンを作ろう
  - ・「大型遊具で遊ぼう」ホールで木製の滑り台、肋木、マット遊び等の  
大型遊具で体を動かして楽しむ。
  - ・お母さんの特技を生かした企画  
子どものマスク作り、リラックスヨガ
  - ・「作って食べよう」「厨房さんと作るわらしこご飯」では、安全で栄養的にも  
子どもの体によいレシピを親子で作って楽しんだ。

口コミで評判が広がり、次月の予約表が出るとあっという間に埋まった。

子育ての様々な情報が流れている中で、悩んでいる保護者が多く「わらしこの広場にきて子育ての仕方を聞いてシンプルですっきりした」と共感してくれる人もいた。

保育園にいる専門家が支援していく必要性を今年度も強く感じた。



年間利用者数

月	組 (家庭数)	大人 (人)	子ども (人)	合計 (人)
4	61	62	68	130
5	92	96	102	198
6	81	81	94	175
7	78	78	99	177
8	79	80	110	190
9	64	64	66	130
10	75	75	81	156
11	87	87	99	186
12	80	80	90	170
1	45	45	52	97
2	78	78	86	164
3	72	62	66	124
<b>合計</b>	<b>892</b>	<b>888</b>	<b>1013</b>	<b>1897</b>

②子育て相談

受付日 月曜日～金曜日

受付時間 9時～17時

目的 園長、主任、保育士、看護師、栄養士が地域の親の子育て相談にあたった。

健康相談1件、栄養相談8件、子育て相談3件。合計12件。

③離乳食講座

年11回開催。栄養士が担当。離乳食前期、中期、後期に分けて開催。

野菜をたくさん取り入れた、わらしこの離乳食を作り方から紹介。赤ちゃんの頃から甘い物を与えていたり、成長にあまりふさわしくない物を食べさせている家庭や、離乳食の進みが悪くて悩んでいる親も多かった。

親子で食べて体験してもらいながら、赤ちゃんの成長、発達に必要な離乳食の内容を伝えた。両親で参加した熱心な家庭もあった。

④リズム講座

目的 親子でリズムを楽しむ。わらしこの園児と一緒にリズムを楽しみながら交流する。月1回開催。在園児各クラス交代で参加。園児たちがリズムや歌のお手本になり、一緒に手遊びや歌、リズムを楽しんだ。

(2) 出産を迎える親の育児体験事業

目的 出産を迎える親の育児不安の軽減。

年間7家庭の受入れを行った。

0歳児クラスで保育士が赤ちゃんの世話をしているところを見てもらったり、実際に着替えを手伝いながら子どもと関わる体験をしてもらった。

「出産後は仕事復帰も考えているため保育園の様子がわかってよかった。」という感想があった。

(3) 苦情解決第三者委員会

年4回開催。苦情申出なし。

(4) 保育所体験

目的 保育を必要とする地域の親子に園舎を開放し、入所児との交流を通じて育児上の相談などを受ける。

同世代の子どもの姿を見て、子どもの発達のことや子育ての方法を知ってもらう。

年間利用者数：合計 20組。

内容：各クラスで受入れをして、午前中の活動を一緒に体験してもらい、わらしこの子育ての仕方を伝える。また、保護者からの質問には担当保育士から助言をおこなった。

「早くお座りをさせないほうがよいと聞いたがそうしてか?」「友達を押してしまうことが多くて悩んでいる」「楽しかった。普段は食事の食べる量が少ないが今日は散歩にも行ってお腹が空いているせいか、給食をよく食べた」等の質問があった。

(4) 健康増進支援

地域の未就学児の健康相談と身体測定を、申込みのあった1家庭おこなった。

(5) 赤ちゃんふらっと事業

地域の親子がいつでも立ち寄れるように、おむつ替えや授乳に必要なスペースを園内に確保した。

(6) 定期利用・一時預かり事業

年間利用者数

月	市内一時	定期利用	計	市外	総数
4	14	50	64		64
5	16	60	76		76
6	15	60	75		75
7	25	64	89		89
8	30	88	118		118
9	12	73	85		85
10	17	89	106		106
11	18	82	100		100
12	20	68	88		88
1	12	70	82		82
2	12	82	94		94
3	23	85	108		108
年計	214	871	1,085	0	1,085

## 5. 職員集団作りと保育内容の継承

園内において、園長、主任、乳児・幼児・食育アレルギー・保健療育支援の各リーダーを中心に、会議の内容も検討してきた。各クラス会議や乳幼児会議においてお互いのクラスの話をして相談し合う様子も見られ、日常的にも保育体制においてもクラスのみで考えるのではなく、乳児間・幼児間で考える姿も見られた。職員会議や総括会議内において、新人職員・中堅職員・ベテラン職員とどの職員も意見を述べる姿があり、話し合いをする場面がある。

三年目の法人研修の実施で、両園の職員とも交流が深まり、この三年間で一番スムーズに、グループ内のメンバー同士（両園間において）でやり取りをしており、両園の職員集団としても、より距離が近付いていた。

保育内容においても乳児会・幼児会で毎月の各クラスの保育内容についての振り返りや次月の実践内容について検討をおこなった。季節行事や係りの仕事、運動会や巣立ちの会実行委員会など、経験の長い職員と浅い職員が組んで、先輩が後輩に伝えながらやってきた。

保護者からご意見や質問があった時は、担当職員からリーダー層の職員に相談をして、対応の仕方を教えてもらったり、一緒に考えたりした。

## 6. 運営の組織強化

- (1) わらしこ第2保育園の運営を円滑に行うために以下の会議を開催した。
- ・職員会議 概ね月1回。保育運営に関する連絡・検討事項。感染症講習会根戸。
  - ・総括会議 1年間をⅢ期に分けて保育計画を立てた。1期ごとに振り返り、まとめ、次期への課題を話し合った。(土曜日開催)

- ・各部署会議 園長・主任会議(随時開催)。運営に関する話し合い。  
乳児会、幼児会(概ね月1回)、保育内容の検討、振り返り、連絡など。  
厨房会議(月1回)園長も入り行った。献立の検討、厨房業務に関する振り返り、課題等
- ・クラス会議 月1回。月案作成。その月の保育のまとめ、自己評価、次月の月案作成。
- ・リーダー会議 月1回、または必要に応じて開催。運営に関する共有、検討事項等。

### (2) 委員会の設置

- ・運動会実行委員会
  - ・巣立ちの会実行委員会
  - ・安全委員 主任が兼務。
- 職員全員がどちらかに所属して運営する。

運動会、巣立ちの会の園のメイン行事は実行委員形式で進めた。

中堅職員が中心となり、ベテランはそれを補佐し、行事や実行委員会の仕事を新人職員に伝えていった。

### (3) 各係りを設置し、職員全員が役割りを担い運営していった。

- ・各季節行事(こどもの日、七夕、お月見、敬老の日、芋煮会、お楽しみ会、節分、ひな祭り)
- ・教材・絵本修繕・・・教材の管理と発注、絵本の管理と修繕。
- ・園内整備・・・園内の美化と危険個所のチェック。
- ・園庭整備・・・園庭の玩具の整備、危険個所のチェック、土慣らし等。
- ・園内研修・・・リズム研修の企画・進行。
- ・畑統括・・・厨房職員が中心になり畑の管理、運営。

各係りの仕事は、その年その年で前任者から仕事内容を受け継いで行っていたが、次年度はマニュアル化する。

## 7. 労働環境の見直し

働き方改革改善事業に取り組んだ。会議の開始時間の見直し、有休休暇の取得率アップ、書類作成にかかる事務時間の確保などの課題が出ているが引き続き改善に向けての取り組みが必要である。

事務時間の確保については、職員同士が協力し合っただけ確保に努めたが、時期によってはそれだけでは間に合わない時もあるため、超過勤務も認めた。

次年度はICT化も導入して書類作成にかかる時間の軽減を図る。

## 8. 災害発生の備え及び危機管理

毎年、年度初めに以下の事項を確認、周知した。

- ・ 備蓄品の見直し、追加。
- ・ 備蓄品リストの作成と職員への周知。
- ・ 「緊急時児童カード」の作成と保護者への周知。
- ・ 第1次避難場所（府中第2中学校）、広域避難場所（多磨霊園）の周知を保護者に行った。

## 9. 運営

### （1）児童受託状況

定員

0歳児 6名、 1歳児 18名、 2歳児 19名

3歳児 19名、 4歳児 19名、 5歳児 19名

①7月、5歳児、1名転出。

④11月、3歳児、転出により管外受託児1名。

⑤年度内、第2子以降育児休暇取得による保育短時間認定に切り替え 2家庭。

その他、保育短時間認定 2家庭。

### （2）延長保育事業状況

- ・ 延長時間 18時～19時
- ・ 職員配置 常勤職員2名、非常勤職員2名
- ・ 零歳児の受入れ 月平均1人～2人
- ・ 年間延べ利用児童者数 3525人
- ・ 保育短時間認定の家庭も増えたため、チェックミスがないか注意が必要で、事務量が多くなった。

### (3) 職員配置

常勤職員 21名 園長(1) 保育士(15) 看護師(1) 栄養士(1)  
調理員(3)

非常勤職員(派遣含む)20名、 事務員(1) シルバー人材(駐輪場整備)2名

### (4) 年間行事

別紙参照

### (5) 給食

#### ①全体として

食育を担う部署として、日々の給食が子どもの心や体を育てる内容になるように工夫や努力を重ねた。職員に献立や内容に関するアンケートをとって歯ごたえや味付けなどを再度確認した。

また、畑の作物を利用した調理保育を厨房職員側からクラスに促し、計画を一緒に立てて実施した。厨房職員がクラスへ出向きホットプレートで野菜を炒める様子を見ると、野菜の苦手な子も食べられるようになった。

畑作業も1年間の畑の計画を立て、各クラスに種まきや収穫の采配をして食育を広げた。

#### ②アレルギー対応

食物アレルギーには、医師からの生活指導管理表と食材チェック表に従い除去食を実施した。

また、誤食防止のため「除去食一覧表」を作成し全職員に配布、周知した。

#### ③食育

- ・年間調理計画に基づき実施。別紙参照。
- ・調理保育の実施。畑の野菜を収穫して調理保育を楽しんだ。

乳児 よもぎ蒸しパン、椎茸焼き、さつま芋餅、  
まいたけ、えのき焼き

幼児 柏餅、空芯菜のおかか和え、味噌汁、梅の和え物、  
さつま芋ホットケーキ、干し芋、スイートポテト、  
ライスケーキ、葱の味噌焼き、ブロッコリー・カリフラワーのペ  
ペロンチーノ

乳児は厨房職員が保育室に出向いて行って、ホットプレートで調理するところを見て食した。

- ・ 11月の芋煮会、12月の餅つきは全園児での食育の活動行事を楽しんだ。

- ④畑 1年間で栽培した野菜（じゃが芋、さつまいも、おくら、さやえんどう、空豆、キャベツ、大根、ほうれん草、里芋、チンゲン菜、ピーマン、ナス、かぶ、きゅうり、長ネギ、ブロッコリー、カリフラワー、人参、ゴーヤ、とまと、玉ねぎ、枝豆、白菜、スイカ）  
幼児クラスが水まき、苗つけ、土づくり、草取り、野菜作り経験をした。

- ⑤献立表、離乳食個別献立表、給食だより、月1回発行。

- ⑥子育て広場事業、食育の地域への啓蒙。

「厨房さんをつくわらしこご飯」で野菜を使い素材の味を大切に、家庭でも簡単に作れる調理を地域の保護者に伝えた。

## (6) 保健

### ①健康診断

- ・ 全園児健康診断 5月、10月
- ・ 0歳児、1歳児、すくすく児定期健康診断 毎月実施
- ・ 職員健康診断 9月実施
- ・ 歯科検診 6月実施。

- ②AED講習会、年1回実施。

- ③熱性けいれん既往歴児9名。ダイアップ預かり児1名。

「投薬指示書兼承諾書」を作成した。

- ④感染症 インフルエンザ44名、流行性角結膜炎7名、感染性結膜炎4名、溶連菌感染症22名、伝染性膿痂疹（とびひ）6名、咽頭結膜熱（プール熱）3名、流行耳下腺炎（おたふく）1名、りんご病1名、手足口病1名、突発性発疹1名

- ④アレルギー対応ガイドライン

「生活指導管理表」を作成。食材チェック表と合わせて保護者に提出してもらい対応した。

⑤怪我による受診件数 17件。

肘内障、前歯打撲、眼瞼裂傷、額割創、後頭部強打、唇切創、顎裂傷、右第5指中節骨ひび疑い（骨折疑い）、右肘関節内血腫、右第5足指末節骨打撲（ひび疑い）右足第4指爪剥脱。

・夕方の時間帯の怪我が多かった。転倒した時に手をつかなかった又は手はついていても支えきれずに勢いよく顔、額をぶつける怪我が多かった。体使いが柔軟になるように、今後も引き続きリズムや遊びで手を着く動きを経験させていく。

⑥保健だより月1回発行。

⑦療育支援

看護師と担当職員が中心となり療育支援をおこなった。担当職員、医療機関との連携をとり、すすく児の身体的な面、心の面での計画、目標を設定し職員たちと共有した。個々の家庭背景を考慮しながら、保護者への支援も行った。

⑧職員の保健衛生 「6、労働環境の見直し」に記載

(7) 環境整備

①園内整備係り、園庭整備係りが中心になり、他の職員にも呼びかけて行った。

エアコンの清掃、年末大掃除、園庭の土慣らし等。

②月1回、三共消毒による害虫検査実施。

③畑の草取りは、保護者の方々が夕方や土曜日に手伝ってくださった。

## 10. 防災・防犯・安全管理

(1) 毎月1回避難訓練を実施した。火災、地震、地震による出火等を年間通して設定。出火については、厨房、0歳児調乳室、保育室で調理保育、子育て支援室の調理室など、出火元の設定をあらゆる可能性のある場所を想定して行い、避難経路の判断を職員ができるように訓練した。

(2) 9月、保護者の協力のもと引取り訓練の実施。

(3) 10月総合避難訓練実施。全園児で第1次避難場所まで避難した。



(4) 月1回危険箇所チェックの実施。園内、園庭、非常階段、遊具、お散歩者、その他保育環境に関する物等の危険箇所をチェック表に基づき係りが点検。修繕が必要な箇所については主任に報告し修繕した。今年度は、玄関扉修繕、ホールと各部屋の鍵を修繕。

1月、朝日消防署にて職員の通報訓練・消化訓練の実施。総合訓練として「煙体験ハウス」により煙体験をした。幼児クラスと職員が火事の際に発生する煙を体験し視界の悪さを大人が実感した。

(5) 事故簿、ヒヤリハット報告を全園で取り組んだ。

- ①事故簿。誤食（0歳児2名、1歳児）、異物挿入（耳）、  
人数把握もれ（延長保育時間帯）  
その他怪我は（6）保健ページ参照。

②ヒヤリハット、年間12件。

受診するほどの怪我には繋がらなかった事例だが、事故簿と同じく、丁寧な検討をして改善点をあげ全職員にも周知し防止に努めた。

子どもが給食の配膳をしていて、おかずの盛り皿を割ってしまった事例が今年度も一件あった。事故簿でも手はついて支えきれずに事故に繋がったケースが見られ、手の力等より見ていく必要も考えられる。また、今年度は異物が入っているヒヤリハットが5件あった。未然に防げたケースも有る為、ヒヤリハットを共有して、“かもしれない”という思考をより広げていき、今後も事故が起きないようにしていきたい。

(6) 防犯訓練については今年度実施しなかったため、今後検討していく。

(7) AED訓練を年1回実施。担当は看護師。

(8) その他、安全マニュアルにて緊急時の対応、午睡チェック、虐待防止マニュアル、園内お約束マップ（保護者にも配布）、害虫駆除、散歩確認表の作成などを周知している。

## 1 1. 実習生・中高生の受け入れ状況

(1) 保育実習生の受入れ

目的：保育人材の育成

- ・日本社会事業大学 1名
- ・洗足こども短期大学 2名
- ・東京国際福祉専門学校 1名
- ・帝京大学 1名
- ・白梅大学 3名

全部のクラスで実習を子育て広場で実習をしてもらい、0歳児から5歳児の子どもの発達を理解できるようにした。また、子育て広場での実習で保育所の子育て支援の役割の理解を深めてもらった。

(2) 次世代育成支援、小・中・高生の育児体験受入れ

- ・ 8月 小学生ボランティア18名の受入れ。わらしこ第2のOB・OGを夏休み期間中受け入れをした。保育の手伝いをしながら園児達と触れ合った。
- ・ 10月 府中市立府中第1中学校生、職場体験2名。

(3) 夏のボランティア、白梅学園学生。

## 12. 職員育成と研修計画

(1) 「法人研修」

法人研修を通して保育の一貫性と両園の連携を図った。

法人研修のテーマはわらしこの保育の特色の中の一つの「生きる力」。両園の職員を混合して4グループ作り、また今年度は保育2グループ、厨房1グループ、子育て支援1グループに分かれて研修をすすめた。

生きる力について自分たちの保育の実践と文献を紐付け、1年間研修した成果を1月にプレゼンした。

「自分たちがやっていることが、子どもを育てる上で大切で、子どもの豊かな成長のために大切にしている事が、研修や発表を通して実感できた」「わらしこの保育はすごい、自信をもって伝えたいです」「3年間のいろはの研修を通して、子どもの育ちには何が大切で、自分はどこを目指して日々保育をしているのか、が明確になり、それを言葉にして伝えられるぐらい自分の中にも落ちたと感じられました」「わらしこ保育園の方々と交流を深められたことは最大の成果であったと思います」などの職員からの研修成果の感想があった。

職員一人ひとりがわらしこの保育の特色とその裏付けとなる学問の理解を深め、保育実践に結び付け、法人全体でわらしこの保育の質を向上させるという目的はほぼ達成された。また、研修を進めていき、物理的な交流だけではなくグループ内のメンバー同士で助け合ったり、信頼し合うなかで両園の交流も深まった。

(2) 「園内研修」

- ①リズム研修 園児リズムと職員研修会 5月、9月、2月 (年3回)  
年長リズム 4月、9月、12月、2月 (年4回)  
全園児親子リズム 7月 (年1回)

1年間リズムについてと、リズムを通して見えた子どもの発達、大人のかかわり方について講師と共に、学びが深められた。

わらしこでやっているリズムを保護者に知って一緒に楽しんでもらい、リズムは子どもの発達に必要な遊びであることを伝えたい為、全園児親子リズムは園行事として位置付けた。

(3) 園外研修 参加状況

①府中市私立保育園職員研修会

- ・4月 総会
- ・保育部会研修会 全4回、常勤保育士が全員  
※今年度、保育部会運営委員を主任が担当。
- ・保健部会研修会 全4回、看護師が参加。
- ・給食部会研修会 全4回、栄養士、調理員が参加。
- ・福祉まつり運営委員会 主任が担当。

②東京都民間保育園主催「東京都の行政及び指導検査研修会」 園長。

③東京都多摩府中保健所 プール衛生管理講習会 看護師。

④東京都多摩府中保健所 保育所幼稚園歯科保健指導者研修会 看護師

⑤東京都多摩府中保健所 子どもの食べる力の発達支援 栄養士

⑥東京都教育庁指導部特別支援教育指導課 就学相談講習会 看護師。

⑦東京都福祉事業財団 喘息・食物アレルギー緊急時対応研修会 看護師

⑧府中市保育支援課 合同講習会 園長、主任、保育士1名。

⑨公益財団法人総合健康財団 保育士等キャリアアップ研修 保育士1名、  
栄養士、看護師

⑩東京都多摩府中保健所 食品衛生実務講習会 栄養士。

⑪社会福祉法人日本保育協会 保育所等マネジメント研修会-主任保育士対象-  
主任1名

### 1 3. 福祉サービス第三者評価の受信

30年度11月、福祉総合評価機構にて受診。調査開始時点での本園の利用世帯80（在園児99）を対象として実施。51世帯の回答があり利用者家族総数に対する回答割合63.8%であった。総合的な満足度は「大変満足」47.1%「満足」52.9%の計100%と高い値を得ており、設問別では「発達に配慮した保育活動」「子どもの興味・関心の伸長」「食事」「急な残業等への配慮」等全17問中14問で80～100%の高い支持を得ている。自由意見では「給食・おやつ・お茶などが自然のもので、身体によいものを使用しており、ぶれない理念のもとで裸足・半袖・入浴などの保育をしている。職員がクラス関係なく全員で全園児を見守っており、子どもを包み込むようなまなざしがよい」「自然体をととても大切にし、子どもの気持ちをよく汲み取り、大人が決めるのではなく子どもたちがきちんと考える機会を持っている」「身体をよく動かし、いろいろな食べものを食べ、都会でも元気に育てる点がよく、子どもの伝える力も育ち、心の面もしっかり育ててくれている」「自然をたくさん取り入れ、年長の合宿や畑仕事など、親がなかなか経験させてあげられないことをしてくれているのでありがたい」などの声が寄せられている。一方さらなる向上を望む意見としては日常の保育内容、職員体制、安全・衛生管理、保護者の就労等への配慮に関する事などが見られた。今後の課題として職員で検討していき改善して、向上できるようにしていきたい。

### 1 4. 中期（3年）、長期（5年から10年）計画の具体化

今後、法人全体で進めていく

(別紙) 年間行事一覧

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめの一步 (入園・進級式)</li> <li>・全体懇談会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子通園</li> <li>・年長リズム</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の合宿説明会</li> <li>・子どもの日の会</li> <li>・春の年長合宿 (21日～26日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児リズム</li> <li>・全園児健康診断</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の合宿報告会</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕の会</li> <li>・全園児親子リズム</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の合宿説明会</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の年長合宿 (10日～15日)</li> <li>・お月見の会</li> <li>・年長リズム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老の日の会</li> <li>・園児リズム</li> <li>・秋の合宿報告会</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全園児健康診断</li> <li>・運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4歳児遠足 武蔵野公園</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芋煮会</li> <li>・4歳児遠足 仲田の森蚕糸公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラス懇談会 (夜に実施)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児遠足 神代植物公園</li> <li>・お楽しみ会</li> <li>・観劇「森は生きている」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4歳児遠足 羽根木公園</li> <li>・5歳児遠足 郷土の森公園</li> <li>・餅つき</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児遠足 武蔵野の森公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4歳児遠足 城山公園</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節分</li> <li>・合同年長リズム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全クラス懇談会</li> <li>・園児リズム</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひな祭り</li> <li>・地球組を送る会</li> <li>・1歳児遠足 (遠出散歩) 武蔵野公園</li> <li>・2歳児遠足 武蔵野公園</li> <li>・3歳児遠足 野川公園、井の頭自然文化園</li> <li>・4歳児遠足 高尾山</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巣立ちの会</li> </ul>

\*避難訓練は毎月行う

以上

# 平成 30 年度 小金井市立まえはら学童保育所 事業報告書

小金井市業務委託事業（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

## 1 小金井市立まえはら学童保育所 在籍児童数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
まえはら第1	69	68	69	68	67	67	64	63	62	61	61	61
まえはら第2	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
合計	109	108	109	108	107	107	104	103	102	101	101	101

## 2 児童の健全な保育に関する業務

### ① 児童の安全管理

施設等内外の点検、危険物の除去や修繕箇所がないかなど確認し、未然に防止できるように努めてきた。

### ② 児童の健康管理

児童の手洗いやうがい、ハンカチの携行など、衛生管理指導を行ってきた。

室内の換気、温度管理などをこまめに行い、冬場の加湿も行った。

急な発熱、嘔吐、怪我など異常が認められる場合は、保護者への連絡など状況に応じて対応した。

### ③ 児童の健全な保育に関する業務

小金井市学童保育所業務マニュアルなどにに基づき実施を行ってきた。

## 3 事業の運営及び施設管理に関する業務

### ① 児童のあそびの指導

自由あそび、室内あそび、みんなであそぼう(集団あそび)など児童の状況に即した適切な遊び指導を行ってきた。また、季節に応じた行事などの工夫も行った。

### ② 出欠席簿や業務育成日誌の作成

児童の出欠状況を把握するとともに、業務育成日誌により日々の業務内容を記録し、引継ぎや振り返りを円滑に行ってきた。

毎月の出欠席簿、業務育成日誌は児童青少年課に提出した。

### ③ 年間・月間指導計画、所外保育(市内)実施計画書の作成

小金井市学童保育所業務マニュアルに基づき作成し、児童青少年課に年間計画は年1回、月間指導計画は毎月、実施計画書は計画ごとに提出した。

④ 間食(おやつ)の提供

「毎日が食育」という観点で、可能な限り手作りのおやつを提供をした。季節の食材（野菜や果物）を使い、食べる喜び、人の思いが伝わるようなおやつ作りを行ってきた。プランターで畑を作り、野菜を育て食べる喜びを感じる食育も大切にしてきた。

食育の日では、日本の暦に合わせたおやつ作りや食に関する日本文化など、話も交えて子どもたちに伝えた。また、ごみの分別や食事のマナー等基本的な生活習慣も大切に行ってきた。

⑤ 保護者への対応

連絡帳やおたよりなどを用いて、子どもたちの学童での様子を伝えていくようにしてきた。子ども同士のトラブル等については、面談等個別対応をして解決していった。

⑥ 施設の安全管理

防災及び防犯の観点から日常的に施設の点検や、学校、地域、見守りボランティアの方々との連携も大切に行ってきた。また、学期に1回の避難訓練を実施し、指導員間でも安全管理が行えるように話し合ってきた。また、放課後子ども教室との共催で不審者対応訓練を実施した。

施設内で修繕箇所がある時は、市に報告を上げ、修繕を行ってもらってきた。

⑦ 施設の衛生管理

小金井市立保育園業務基準、わらしこの会衛生管理マニュアルを基に感染症予防対策、間食時などの衛生管理を行ってきた。

⑧ 職員配置について

4月～10月

指導員(正規職員)	3名	
指導員	3名	
臨時職員	1名	
子育て広場職員	1名	合計 8名

11月～3月

指導員(正規職員)	3名	
指導員	3名	
臨時職員	1名	
子育て広場職員	1名	
派遣職員	1名	合計 9名

\*職員体制は毎月勤務表にて児童青少年課に報告を行っている。

# 1 学期のとりくみ

とりくみ	みんなであそぼう	自由あそび
<p><b>春休み一日保育 (4/1~4/5)</b></p> <p>オリエンテーション 自己紹介・職員紹介・まえはら学童の案内 みんなであそぼう・工作(ブーメラン・ ぶんぶんごま・ ストロー飛行機)・ 誕生日表似顔絵かき</p> <p><b>4 月の生活発表 (降所グループを中心に)</b></p> <p><b>新入生歓迎会 (4/25)</b></p> <p>～新入生へのプレゼント～ 新入生の歌「にじ」、 集合写真とまえはらっこともだち カードのプレゼント ～かんげいのだしもの～ ・けんだま・あやとり ・こま・なわとび・マジック ・うた・まえはらがくどうクイズ</p> <p><b>一学期の班作り (5/9)</b></p> <p><b>誕生日会 (4/18・5/30・6/13・7/4・9/6(8 月の誕生日会))</b></p> <p><b>食育</b></p> <p>4 月 1 年生を迎え、いただきます。ごちそうさま。片付けなどおやつ時のマナー等をみんなで確認する。(4/20) 5 月 手洗い・うがいについて。手洗いチェッカーを使って。(5/10) 6 月 梅ジュース作り・梅雨のお話。(6/27) 7 月 火おこしをしてご飯を炊いてみる (7/19) 8 月 食材について学びながら、みんなで楽しい昼食作りをする。(8/9・8/22) 9 月 秋分の日の行事、季節を感じ「ぼたもち」をつくる。(9/20)</p> <p><b>避難訓練 (5/18)</b> 地震を想定した訓練。避難場所、避難経路の確認。</p> <p><b>ありがとうのプレゼントづくり 『折り染めのうちわとトレ』</b></p> <p><b>夏のお楽しみ会 (7/13)</b> 「おもいっきりたのしめ まえはらんど」</p> <p>各班のお店</p> <p>『カラフルさかなつり』 『きょうふのおぼけめいろ』 『はちやめちやコリントゲーム』 『どきどきにんげんたたき』 『レインボーボウリング』 『まとあてシューティングゲーム』 『ドキドキワクワクわなげコーナー』</p> <p><b>夏休み一日保育 (7/21~8/29 前原小、~8/31 一小)</b></p> <p><b>昼食づくり (8/9)</b>・コロッケ・ゆでたまご・サラダ ・味噌汁・巨峰、 (8/22)・ロコモコ丼・スープ・サラダ・梨</p> <p><b>夏休みの工作 「布ぞうり」</b></p>	<p>みんなであそぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃんけん列車</li> <li>・お金持ちじゃんけん</li> <li>・ピラミッド王様じゃんけん</li> <li>・三色おに</li> <li>・カレーライスジャンケン</li> <li>・しんぶん島</li> <li>・てんかまいた</li> <li>・ウインクキラ</li> <li>・そしてだれかがいなくなった</li> <li>・歌あそび</li> <li>・手あそび</li> </ul> <p><b>栽培</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニトマト</li> <li>・なす</li> <li>・きゅうり</li> <li>・ピーマン</li> <li>・枝豆</li> </ul> <p><b>5 月～9 月にかけて班ごとにプランターで野菜を育てました。収穫した野菜は、子どもたちのリクエストで調理して食べました。</b></p> <p>果樹</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんず</li> <li>・姫リンゴ</li> </ul> <p><b>飼育</b></p> <p>野川の生き物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モツゴ</li> <li>・カワニナ</li> <li>・スッポン</li> <li>・メダカ</li> <li>・ザリガニ</li> </ul>	<p>自由あそび</p> <p><b>外あそび</b></p> <p>草花集め 虫とり(蝶、だんごむし、セミ、とんぼ、バッタなど) 観察池(カエル、おたまじゃくし、ザリガニ) 野川あそび(生きもの探し、水遊び) 泥だんご作り 砂場あそび 色水作り 校庭(一輪車、うんてい、鉄棒、のぼり棒、サッカー、野球、かくれんぼ、鬼ごっこ、バドミントン) など</p> <p><b>室内あそび</b></p> <p>折り紙、工作 お絵かき、お手玉 人形あそび こま、ベーゴマ ブロック、レゴ ジオシェイプ トランプ、かるた カードゲーム 将棋、オセロ 動物将棋 ジャンボ将棋 読書、ボードゲーム ピアノ、けん玉等</p> <p><b>放課後見守り</b> 月曜と金曜 校庭あそびに自由あそびで参加しています</p>



## 2・3 学期の取り組み

	とりくみ	集団あそび	自由あそび																
2 学 期	<b>9月</b> ●2学期の班編成(9/4) ●けん玉はじめよう会(9/10)  <b>10月</b> ●遠足 野川公園(10/1)(前原小運動会振替休業日) ●けん玉大会班対抗戦(10/31) ○第2回保護者会(10/12) ○個人面談 ○巡回相談②(10/29)  <b>11月</b> ○NTT災害伝言ダイヤル訓練(11/15) ●遠足 高尾山(11/19) (前原小けやき祭振替休業日) ●けん玉修了会 個人戦(学年毎)(11/28) ○避難訓練②(11/20)  <b>12月</b> ●お楽しみ会【みんなのプレゼント】(12/19) (1年生 群読【くじらぐも】歌【青い空に絵をかこう】 2年生 いろいろな国 ダンス【U・S・A】歌【勇気100%】 3年生 劇【十二支のはじまり】) ○不審者対応訓練〔放課後子ども教室と合同〕 (12/21) ※冬休み1日保育(12/25~12/28・1/4~1/7) ○年越しうどん	○みんなであそぼう ・てんかまいた ・三色おに ・カレーライスじゃんけん ・お金持ちじゃんけん ・しんぶん島 ・ピラミッド王様ジャンケン  ・青白めくれ ・ケイドロ ○運動会競技あそび ・子どもリレー ・出たとこ勝負 ・機関車リレー ・台風の日 ・玉入れ ・大波・小波 ○けん玉あそび ・どんけつ ・一本勝負 ○ドッジボール ・なかあて ・キャンディードッジ ・アメリカンドッジ  <b>中庭</b> ・エニシダ ・あんず ・姫リンゴ  <b>飼育</b> 野川の生き物 ・モツゴ・タモロコ・カニ ・ヌマエビ・ヨシノボリ ・シマドジョウ・カワニナ ・オイカワ・メダカ・川エビ ・ザリガニ	<b>外あそび</b> ・虫捕り ・野の花摘み ・校庭(一輪車・うんてい・鉄棒・のぼり棒・サッカー・野球・ドッジボール・かくれんぼ・鬼ごっこ・砂場あそび・なわとび  <b>庭</b> 泥だんご作り・木登り・おままごと <b>野川あそび</b> 水辺の生きもの探しなど  <b>公園</b> 鬼ごっこ(ケイドロ・氷おに・だるまさんが転んだなど) ブランコ・砂場  <b>季節のあそび</b> 川遊び  <b>室内あそび</b> 折り紙・工作 お絵かき お手玉 こま けん玉・ジオシェイプ ブロック、レゴ トランプ・カード ゲーム・ウノ かるた・ごっこあそび(リカちゃん) マンカラ・将棋 ・動物しょうぎ ・オセロ・読書 ・ボードゲーム ・ピアノ など																
	<b>1月</b> ●3学期の班編成(1/8) (正月あそび こま・福笑い 凧あげ)  <b>2月</b> ○巡回相談③(2/4) ●ドッジボール大会(2/16) ○第3回保護者会(2/22) ○避難訓練③(2/28) ○文集づくり  <b>3月</b> ●3年生を送る会(3/20) ○新入所生へのお手紙書き ※春休み1日保育開始(3/25~)	(正月あそび こま・福笑い 凧あげ)  <b>飼育</b> 野川の生き物 ・モツゴ・タモロコ・カニ ・ヌマエビ・ヨシノボリ ・シマドジョウ・カワニナ ・オイカワ・メダカ・川エビ ・ザリガニ	(正月あそび こま・福笑い 凧あげ)  <b>飼育</b> 野川の生き物 ・モツゴ・タモロコ・カニ ・ヌマエビ・ヨシノボリ ・シマドジョウ・カワニナ ・オイカワ・メダカ・川エビ ・ザリガニ																
3 学 期	<b>誕生会</b> <table border="0"> <tr> <td>8月誕生会(9/5)</td> <td>三色おに</td> </tr> <tr> <td>9月誕生会(9/26)</td> <td>ピラミッド王様ジャンケン</td> </tr> <tr> <td>10月誕生会(10/17)</td> <td>青白めくれ</td> </tr> <tr> <td>11月誕生会(11/7)</td> <td>てんかまいた</td> </tr> <tr> <td>12月誕生会(12/5)</td> <td>青白めくれ</td> </tr> <tr> <td>1月誕生会(1/16)</td> <td>キャンディードッジ</td> </tr> <tr> <td>2月誕生会(2/20)</td> <td>そして誰かがいなくなった</td> </tr> <tr> <td>3月誕生会(3/6)</td> <td></td> </tr> </table>	8月誕生会(9/5)	三色おに	9月誕生会(9/26)	ピラミッド王様ジャンケン	10月誕生会(10/17)	青白めくれ	11月誕生会(11/7)	てんかまいた	12月誕生会(12/5)	青白めくれ	1月誕生会(1/16)	キャンディードッジ	2月誕生会(2/20)	そして誰かがいなくなった	3月誕生会(3/6)		<b>リクエストあそび</b>	
8月誕生会(9/5)	三色おに																		
9月誕生会(9/26)	ピラミッド王様ジャンケン																		
10月誕生会(10/17)	青白めくれ																		
11月誕生会(11/7)	てんかまいた																		
12月誕生会(12/5)	青白めくれ																		
1月誕生会(1/16)	キャンディードッジ																		
2月誕生会(2/20)	そして誰かがいなくなった																		
3月誕生会(3/6)																			

## 5 子育てひろば事業

参加者・開催日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども	0	66	96	62	0	64	93	89	79	70	110	97	826
大人	0	55	83	47	0	53	74	63	63	57	91	78	664
合計	0	121	179	109	0	117	167	152	142	127	201	178	1500
開催日数	0	9	13	7	0	9	12	11	8	8	11	9	97
中止日数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

## 6 関係機関及び地域との連携

### ① 保護者との連携

個人面談や、学期に1回保護者会を行い、より良い学童運営が行っていただけるように保護者との話し合いの場を大切にしました。

また、父母会主催の行事に協力してきた。運動会の子どもの選手決めや練習、キャンプの班割け、必要な物品の貸し出しなどその都度相談に乗って行った。

### ② 学校との連携

児童の育成について、クラス担任や副校長と連携をとり児童の様子など情報交換を行った。また、おたより等を通して学童の様子を伝え、学童保育所を理解していただくよう努めてきた。

前原小学校芝生会議に参加し、校庭の芝生の育成に協力してきた。また、放課後見守り会議に参加してきた。

### ③ 放課後子ども総合プラン協議会

子どもたちの放課後についての会議に参加した。

### ④ 他の学童保育所との連携

定期的な事務連絡会、職場内研修に参加し情報共有、市の事業として統一的な運営が行えるよう努めてきた。

### ⑤ 地域との連携

近隣地域とは、見守りボランティアに参加している地域の方やOBの保護者とも日頃から挨拶等交流している。また降所時の通学路にある商店や公共施設にも挨拶して、子どもたちを見守ってもらえるよう繋がりを大切にしている。

### ⑥ 関係機関との連携

子ども家庭支援センター、小金井市児童発達支援センター（きらり）との連携を行ってきた。

以上

# 平成 30 年度 小金井市立みなみ学童保育所 事業報告書

小金井市業務委託事業（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

## 1 小金井市立みなみ学童保育所 在籍児童数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みなみ第1	36	36	36	36	36	36	36	37	36	36	36	35
みなみ第2	39	39	39	39	39	39	39	40	42	40	40	40
合計	75	75	75	75	75	75	75	77	78	76	76	75

## 2 児童の健全な保育に関する業務

### ④ 児童の安全管理

施設等内外の点検、危険物の除去や修繕箇所がないかなど確認し、未然に防止できるように努めてきた。

### ⑤ 児童の健康管理

児童の体調に合わせて応急手当が行えるように医薬品を常備して対応した。また、室内の換気、温度管理などもこまめに行った。

急な発熱、嘔吐、怪我など異常が認められる場合は、保護者への連絡など状況に応じて適切に行ってきた。

### ⑥ 児童の健全な保育に関する業務

小金井市学童保育所業務マニュアルなどにに基づき実施を行ってきた。

## 3 事業の運営及び施設管理に関する業務

### ⑨ 児童の遊びの指導

自由あそび、室内あそび、みんなであそぼう(集団あそび)など児童の状況に即した適切な遊び指導を行ってきた。また、季節に応じた行事など工夫も行った。

季節行事など日本の文化的行事を大切にしてきた。

### ⑩ 出欠席簿や業務育成日誌の作成

児童の出欠状況を把握するとともに、業務育成日誌により日々の業務内容を記録し、引継ぎや振り返りを円滑に行ってきた。

毎月の出欠席簿、業務育成日誌は児童青少年課に提出した。

### ⑪ 年間・月間指導計画、所外保育(市内)実施計画書の作成

小金井市学童保育所業務マニュアルに基づき作成し、児童青少年課に年間計画は年1回、月間指導計画は毎月、実施計画書は計画ごとに提出した。

⑫ 職員配置について

指導員(正規職員)	3名	
指導員(有期雇用常勤職員)	3名	
指導員(有期雇用非常勤職員)	1名	
子育て広場職員	1名	合計 8名

\*職員体制は毎月勤務表にて児童青少年課に報告を行っています。

⑬ 間食(おやつ)の提供

季節に合わせた手作りのおやつを中心に、成長期である子どもたちに必要な栄養が補給できるような工夫と、食べる喜び、作り手の思いが伝わるようなおやつ作りを行ってきた。

食育の日では、日本の暦に合わせたおやつ作りや食に関する日本文化など、お話も交えて子どもたちに伝えた。また、ごみの分別や食事のマナー等基本的な生活習慣も大切に行ってきた。

⑭ 保護者への対応

連絡帳やおたよりなどを用いて、子どもたちの学童での様子を伝えていくようにしてきた。子ども同士のトラブル等については、面談等個別対応をして解決していった。

⑮ 施設の安全管理

防災及び防犯の観点から日常的に施設の点検や、学校、地域との連携も大切に行ってきた。また、学期に1回の避難訓練を実施し、指導員間でも安全管理が行えるように話し合ってきた。

施設内で修繕箇所がある時は、市に報告を上げ、修繕を行ってもらってきた。

⑯ 施設の衛生管理

小金井市立保育園業務基準、わらしこの会衛生管理マニュアルを基に感染症予防対策、間食時などの衛生管理を行ってきた。

## 4 子育てひろばに関する業務

参加者・開催日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども	0	46	77	48	0	41	79	70	40	21	32	46	500
大人	0	44	64	40	0	37	68	61	36	19	28	46	443
合計	0	90	141	88	0	78	147	131	76	40	60	92	943
開催日数	0	11	13	7	0	9	12	12	8	7	11	9	99
中止日数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2

## 5 関係機関及び地域との連携

### ① 学校との連携

児童の育成について、クラス担当と連携をとり児童の様子など情報交換を行った。また、おたより等を通して学童の様子を伝え、学童を理解していってもらえるように努めてきた。

前原小学校芝生会議・見守り会議に参加してきた。

### ② 保護者との連携

個人面談や、学期に1回保護者会を行い、より良い学童運営が行っていただけるように保護者との話し合いの場を大切にしてきた。

父母会主催の行事には積極的に参加し、保護者との交流を深めてきた。又必要に応じて、当日の子どもたちの班割や競技のグループ分け、必要な物品の貸し出しを行ってきた。

### ③ 他の学童保育所との連携

定期的な事務連絡会、職場内研修に参加し情報共有、市の事業として統一的な運営が行えるように努めてきた。

### ④ 地域との連携

近隣地域とは、見守りボランティアに参加されている地域の方を含め、日ごろから積極的にあいさつを行い、地域の情報や、子どもたちの降所を一緒になって見守っていただくなど繋がりを大切にしている。

### ⑤ 関係機関との連携

子ども家庭支援センター、小金井市児童発達支援センター（きらり）、民生委員、スクールソーシャルワーカーとの連携を行ってきた。

## 6 年間の取り組み

### 1 学期のとりくみ

とりくみ	みんなであそぼう	自由あそび
<p><b>春休み一日保育 (4/2~4/5)</b>                      オリエンテーション                      自己紹介・職員紹介・みなみ学童の案内                      みんなであそぼう・工作(こま・ブーメラン)                      誕生日表似顔絵かき</p> <p><b>4月の生活発表(降所グループを中心に)</b>  <b>新入生歓迎会</b> (4/18)                      ~新入生へのプレゼント~                      写真フレームとみなみっこともだちカード                      のプレゼント (2年生ともだちカード作り)                      ~3年生の出し物~                      ・フラフープ・ベーゴマ・一輪車                      ・ダンス・マジック</p> <p><b>一学期の班作り (5/8)</b>  <b>誕生日会 (4/25・5/30・6/27・7/25・8/29・9/26)</b>  <b>食育</b></p> <p>4月 1年生を迎え、いただきます。ごちそうさま。片付けなどおやつ時のマナー等をみんなで確認する。(4/11)                      5月 八十八夜についての意味を学び、よもぎ団子づくりと新茶をいれておやつを楽しむ。(5/16)                      6月 紙芝居を通してうがい手洗いの大切さや食中毒にならないための食べ物などを知る。(6/29)                      7月 夏のキャンプに向けて飯盒炊爨 (7/7)                      8月 お昼づくり 9日ぎょうざ作り 29日三角太巻き                      ・豚汁 (8/9・8/29)                      9月 お月見・秋分の日の行事、食べ物について学ぶ。(9/19)</p> <p><b>避難訓練 (5/19)</b> 子どもたちと一緒に避難場所、避難経路の確認避難時の注意点など話し合った。  <b>デイキャンプ (7/14)</b> 父母会キャンプ(7/14・15)                      「キャンプだ!みなみ2018 キャンプだよ!全員集合」</p> <p>14日 火おこし・野川あそび・流しそうめん                      飯ごう炊さん・肝試し・キャンプファイヤー                      15日 散歩・ラジオ体操・レクリエーション</p> <p><b>夏休み一日保育 (7/21~8/31)</b>  <b>昼食づくり</b> ・ぎょうざ・おにぎり・中華スープ                      ・くだもの (8/9)                      ・三角太巻き・豚汁・くだもの (8/29)  <b>夏休みの工作</b> 「たたき染め巾着袋づくり」</p>	<p><b>みんなであそぼう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃんけん列車</li> <li>・お金持ちじゃんけん</li> <li>・ピラミッド王様じゃんけん</li> <li>・カレーライスジャンケン</li> <li>・よくばりボール</li> <li>・かも〜んジャンケン</li> <li>・かたき</li> <li>・こちらみなみ新聞編集部</li> </ul> <p><b>みなみ畑収穫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニトマト</li> <li>・スイカ</li> <li>・じゃがいも</li> </ul> <p><b>収穫した野菜は、おやつのおいしくいただきました。</b></p> <p><b>飼育</b>                      武蔵野公園・野川生き物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モツゴ・カワニナ・ヤゴ</li> <li>・メダカ・ザリガニ</li> <li>・カブトムシの幼虫</li> </ul> <p><b>その他</b>                      小学校学童前の通路に実った梅をいただき、梅干・梅ジュースづくりをしました。</p>	<p><b>外あそび</b></p> <p>草花集め                      虫とり(ミミズ、だんごむし、セミ、とんぼ、カブトムシなど)                      野川あそび(水辺の生きもの探し、水遊び)                      泥だんご作り                      砂場あそび                      色水作り                      校庭(一輪車、うんてい、鉄棒、のぼり棒、サッカー、野球、かくれんぼ、鬼ごっこ、かたき、ドッジボール) など</p> <p><b>室内あそび</b></p> <p>折り紙、工作                      お絵かき                      人形あそび                      こま・ベーゴマ                      ブロック、レゴ                      トランプ                      カードゲーム                      かるた                      マンカラ                      将棋                      オセロ                      動物しょうぎ                      読書                      ボードゲーム                      野球盤                      ピアノ                      ワニおに・ゾンビ                      おに                      ごっこあそび                      ダンス</p>



## 平成 30 年度 児童発達支援事業所 Tossie 事業報告書

平成 28 年 5 月に法人の 4 つ目の施設として開設した東京都認可の発達支援事業所である。地域の要求は高かったものの、開設当初は予想を大きく下回り、利用者の確保に苦勞し運営は困難を極めたが、徐々に利用者からの評価を受け、開所丸 3 年を迎えた。少しずつではあるが、安定した運営を確保しつつある。

2018 年度は、児童の利用数が増えた事から職員を 3 名増員し、新たな児童の確保と療育内容の充実に努めた。年度初めは利用定員を下回ってのスタートとなったが、月を追うごとに児童が増え、利用率も安定してきた。

法人の理念を基に、生活を基本に考えた発達支援事業所であり、唯一無二である。ゆえに社会からの認知がまだまだ低いが、ようやく今まで努力した成果が実績として利用者にも認められつつあり、評価されてきた。

稼働率は右肩上がりで伸びており、現場職員の頑張りの結果である。

### 【利用児童の状況】

障がいの特性の異なる 0 歳～6 歳の異年齢の児童。複数の仲間で共に遊ぶ事の喜びや、入浴や給食を共にする事の楽しさを感じながら生活した。

### 【年間行事】

月	行 事
4 月	母親学級
5 月	内科健診・こどもの日の集い
6 月	歯科検診・避難訓練・リズム遊び研修・梅シロップ作り・母親学級
7 月	内科健診・七夕の会
8 月	母親学級およびビデオ上映会
9 月	内科健診・総合避難訓練・お月見の会
10 月	母親学級・さつまいも掘り（わらしこ保育園合同）
11 月	芋煮会・親子リズム（わらしこ第 2 保育園） 保護者懇親会およびビデオ上映会
12 月	冬至の会・お楽しみ会・もちつき（わらしこ保育園）・大掃除
1 月	初詣・お正月遊び
2 月	避難訓練・節分の会
3 月	ひな祭りの会・梅まつり遠足・巣立ちの会およびお別れ会

\*該当月に各児童のお誕生日会も開催した。



### 【運営状況】

月	利用登録人数	延利用人数	稼働日	定員超日数	稼働率
4月	24名	179名	20日	7日	89.5%
5月	25名	196名	21日	10日	94.2%
6月	25名	203名	21日	10日	96.6%
7月	25名	206名	21日	13日	98.0%
8月	27名	220名	18日	18日	122.2%
9月	28名	215名	18日	17日	119.4%
10月	28名	264名	22日	20日	120.0%
11月	29名	265名	21日	21日	126.2%
12月	29名	235名	19日	17日	123.6%
1月	29名	227名	19日	17日	119.5%
2月	29名	237名	19日	17日	124.7%
3月	29名	249名	20日	19日	124.5%

### 【活動内容】

発達の基本は生活であると考え、子どもが自ら伸びる力を発揮できる環境作りを心掛けた。散歩・給食・入浴・昼寝を通し、一日の流れを大切にされた。十分に体を動かし、入浴で身体をリラックスさせ、お腹いっぱい美味しい給食を食べる事で、お昼寝もスムーズにでき、生活リズムを整える事ができた。

また、法人内の施設であるわらしこ保育園・わらしこ第2保育園との交流も試みた。

〈散歩〉公園では裸足で地面を歩いたり、傾斜を登ったりしながら、手足の感覚や体幹を鍛えた。感覚過敏があり、砂・砂利に触る事が苦手だった児童も、徐々に慣れて、触って楽しく遊べるようになった。歩く事が脳の活性化につながり、発達を促すとの考え方から、歩行が安定した児童は、公園までの往復をできるだけ歩いて移動した。

〈入浴〉血行促進・気持ちいい感覚を養った。冬場、手足の末端が冷えている児童には、朝、足湯を施す事で動きが活発になった。

〈給食〉手作り・無添加の美味しい給食をみんなで食べた。

極端な偏食・また偏食傾向がある児童も、朝の会で給食に使う食材に触れ、ちぎるお手伝いをしたり、お友達と一緒に給食を食べる事で、苦手な食材も食べられるようになった。自宅で汁物を飲む習慣がなかった児童は、食べ方がわからず戸惑っていた事もあったが、2~3杯おかわりするようになった。

〈昼寝〉成長に大切な睡眠を充分確保した。

〈リズム遊び〉ピアノに合わせてながら体全身を動かし、発達に必要な筋肉・体力を養い、脳の活性化を促した。始めに手遊び歌を導入した事で、児童の集中が高まり、スムーズに参加できた。4月当初は端っこで見ているだけだった児童も、だんだんと自ら参加する機会が増え、3月末にはほぼ全員が何かしらの形で参加できるようになった。

〈排泄〉0歳～綿パンツで過ごし、快・不快を体感しながら、五感を養った。

新しい児童・低月齢の児童はTossieでの生活リズムが安定したタイミングで、綿パンツで過ごした。児童一人一人の発達段階を見ながら、トイレに座る機会を作った。最初は便座に座る事にも抵抗を感じていた児童も、一度トイレを成功すると、トイレでの排泄が定着してきた。

〈わらしこ保育園との交流〉

\*わらしこ保育園クラスへ入り、集団生活の体験\*

保育園・幼稚園等の集団を経験していない児童が、刺激が良い刺激となるよう、発達段階を見極めながら、集団生活を体験した。

4歳児	1名	合計16日 うち3日は遠足に参加 5月：奥多摩の森バス遠足 12月：歩け歩け遠足 3月：桜が丘公園バス遠足
3歳児	5名	合計28日
1歳児	1名	合計2日

\*さつまいも堀り\*

10月にわらしこ保育園幼児クラスと合同にて、10名の児童がバスに乗ってさつまいも堀りを体験した。

\*もちつき\*

集団生活を体験した児童4名が、親子でわらしこ保育園のもちつきに参加した。

〈わらしこ第2保育園との交流〉

11月に行われた親子リズムに12組の親子が参加した。

児童は、給食・お昼寝もわらしこ第2保育園で過ごし、慣れない場所での生活も経験した。

### 〔集団生活で得たもの〕

同年齢の定型発達の児童と共に過ごした事で、普段 Tossie では見られなかった生活動作(お散歩で坂道も歩く・自ら着替える・きれいに給食を食べるなど)が見られ、お友達から良い刺激をたくさん受けた。お友達が Tossie の児童を覚えてくれ、仲間として受け入れてくれた事で、保護者にも大きな喜びと、我が子を信じる気持ちが生まれた体験であった。

### 【事故・ヒヤリハット等】

事故 特になし

ヒヤリハット 1件

1歳児の児童が施錠していない玄関から外へ数歩出てしまい、同マンション住人が気づき、職員が室内へ連れ戻す。

### 【職員研修】

年間の研修計画を立て、職員研修を行い、療育支援の意識統一を図った。

\*1年間のねらい：「自閉症の子ども」と「生きる力」について\*

第1回(7月)	新・児童アセスメントシートの活用方法について
第2回(8月)	描画について①
第3回(10月)	描画について②・リズム遊びについて
第4回(12月)	作業療法士目線からの支援法①手の動きからみる発達段階と成長過程
第5回(1月)	作業療法士目線からの支援法②手の機能を誘発する遊び 「新聞紙を使って、発達段階にあった遊びを考える」

### 【職員会議】

おおむね1ヶ月に1度行った。

### 【保護者支援】

6ヶ月に1度、個別支援計画に伴う個別面談を行った(前期・後期)。

定期的に母級学級・保護者の親睦会を開催した。その中で、Tossie のへの期待や存続の要望がたくさん聞かれた。

\*母級学級テーマ\*

第1回(昨年度2月)	「生きる意欲を育てる」
第2回(4月)	「養育環境の整備・生活リズムを整える・生理性豊かな生活」
第3回(6月)	「運動・歩行について」「咀嚼について」
第4回(8月)	「動くこと」「遊びについて」
第5回(10月)	「食環境について」

**【自己評価表の公表】**

12月に保護者および職員にアンケートを実施し、集計、職員間で協議を行った後、3月にTossieホームページにて公表をした。

**【職員体制】**

管理者（常勤） 1名

児童発達支援管理責任者（常勤） 2名（12月より病休にて交代・1名12月より休職中）

児童指導員（常勤2名・非常勤1名） 3名

指導員（非常勤） 3名

作業療法士（非常勤） 1名

言語聴覚士（非常勤） 1名

**【設備等】**

アップライトピアノ 1台 ご寄付

ノートパソコン 1台 購入

以上

## 社会福祉法人わらしこの会の理念

1. わらしこに関わる全ての人々の安心と健全な生活を目指し、人間尊重を第一の理念とする。
2. 子どもの権利を常に追求し、子どもの権利を護り発展させ、子どもの最善の利益に沿うことを第二の理念とする。
3. 地域とともに歩み、地域において最善の子育て環境を整える上で役割を果たすことを第三の理念とする。